

姫路市社会福祉事業団研修システム

平成28年(2016年)4月1日施行

◆ 姫路市社会福祉事業団が求める職員像

- 1 姫路市社会福祉事業団職員として、姫路市と一体となって、その使命と責任を自覚し行動する職員
- 2 高い専門性を有し、自己変革・自己実現する意欲と情熱のある職員
- 3 地域社会との適切なパートナーシップを築き、地域に根ざした福祉を推進する人間性豊かな職員
- 4 新たな時代の福祉ニーズに対し、柔軟な発想で的確に対応できる創造性のある職員
- 5 コスト意識を持ち、組織として最大の効果を発揮できるよう自律的に行動する職員

◆ 姫路市社会福祉事業団の職員に求められる能力・資質

区 分	求められる能力・資質
所属長(5・4級)	・施設の経営管理(マネジメント)能力 ・トップとしての管理監督責任とリーダーシップ ・人事、労務管理とコンプライアンス ・財務管理能力 ・部下の自主性を尊重して自律的な組織運営環境を整える ・リスク、苦情に対する方針決定 ・緊急の事案を部下に指示して解決でき、改善策を提示できる ・外部との交渉力 ・多角的に情報収集、分析し、施設及び事業団の発展に取り組める ・職員倫理
管理(4級)	・チームアプローチによる業務遂行管理能力 ・問題の発見及び解決能力 ・他部門や地域の関係機関と連携、協働する ・所属長の補佐及び補渡し(提言、企画) ・業務マニュアルの管理 ・人材育成とメンタルヘルス ・リスク、苦情の予防と管理 ・緊急の事案を部下に指示して解決できる ・事業団の課題に向けた取り組み ・職員倫理
主任(3級):後期	・チームアプローチの実践能力 ・実務における高度な知識技術 ・業務マニュアルが作成できる ・チームのリーダーとして後輩に対し指導育成を行う役割を果たし、上司を支援することができる ・リスク、苦情への対応 ・緊急の事案が上司のサポートなく対応可能 ・研究活動や発表などを通じて知識、技術の向上を図る ・4級昇格へ向けて自己啓発できる ・事業団の課題の理解 ・職員倫理
主任(3級):前期	
中級(採用後6年目以上)	・チームアプローチの理解と共同能力 ・単独で日常業務が可能 ・業務の知識技術向上 ・記録を整理し上司へ報告相談できる能力 ・後輩への業務アドバイス ・業務マニュアルの改善提案ができる ・リスク、苦情への対応 ・緊急の事案が上司のサポートの下、対応可能 ・3級昇格へ向けて自己啓発できる ・職員倫理
初級(採用後2～5年目)	
新人(採用後1年目)	・社会人としてのマナー、基本姿勢 ・福祉に携わる職員としての基本姿勢 ・適切なコミュニケーションがとれる ・マニュアルを見て実践できる ・業務の基本知識の理解と技術習得 ・リスク、苦情の理解 ・緊急の事案に対し適切にホウレンソウが可能 ・事業団の概要の理解 ・組織の理念、方針の理解 ・職員倫理

*主任(3級):後期は、昇格後5年以上の職員をいう。主任(3級):前期は、昇格後5年未満の職員をいう。
*研修時期については、休職等により調整する場合がある。

◆ 姫路市社会福祉事業団/研修体系

研修主体	研修種別	内 容 等
法人研修 【組織研修】	所属長(5・4級)	【外部】「財務・人事・労務に関する研修」(県社協)、メンタルヘルス、リスクマネジメント、コンプライアンス等
	管理(4級)	【外部】メンタルヘルス、人材育成等
	主任(3級):後期	【内部】集団研修(リスクマネジメント、プレゼンテーション等)
	主任(3級):前期	【外部】「チームマネジメントリーダー研修」(県社協)
	中級(採用後6年目以上)	【内部】集団研修(チームアプローチ、クレーム対応等)
	初級(採用後2～5年目)	【内部】集団研修(職員倫理、アサーティブコミュニケーション、対人援助基礎等)
	新人(採用後1年目)	【外部】「社会福祉施設(介護・障害)新任職員研修」(姫路市監査指導課)
	新規採用職員事前研修	
	事業団職員全体研修	
	交通安全研修	交通安全に関するDVD視聴による研修
資格取得研修	社会福祉士資格取得研修	
各部門・事業所研修 【専門研修】	新人・新任職員研修	
	OJT研修	OJTリーダー研修を含む
	職員研修会	公開セミナー、ルネス花北職員全体研修、感染症研修、心肺蘇生法研修、口腔ケア研修、摂食研修、嘱託医による医療情報研修 等
	交流研修	他施設での2日間の実習 等
	事例検討会	
	研修報告会(伝達研修)	研修報告
	外部研修	外部主催の各種職種別等専門研修
	資格取得研修	社会福祉施設長資格認定講習課程、サービス管理責任者研修、相談支援専門員、療の吸引等の実施のための研修 等
その他(上記のいずれにも該当しない研修)		